

東京2020オリンピック 自転車競技ロードレース(男子)

7/24^土
11:00 START

レース距離：234km 市内走行距離：19.2km

産業振興課 オリンピック・パラリンピック推進室 995-1825

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）は、7月23日（金）から8月8日（日）まで開催されます。自転車競技男子ロードレースは、7月24日（土）11時に武蔵野の森公園（東京都府中市）をスタートし、富士スピードウェイ（小山町）をゴールとして行われます。コースの全長は244km（スタート後10kmはパレード走行）、そのうち市内の走行距離は19.2kmです。



自転車競技は第1回五輪大会から開催

自転車競技は、オリンピックでも歴史ある競技で、第1回のアテネ大会から行われている5つの競技の一つです。第1回大会で行われたのは、男子のロードレースとトラックのみでした。ロードレースは一般公道を走るレースです。



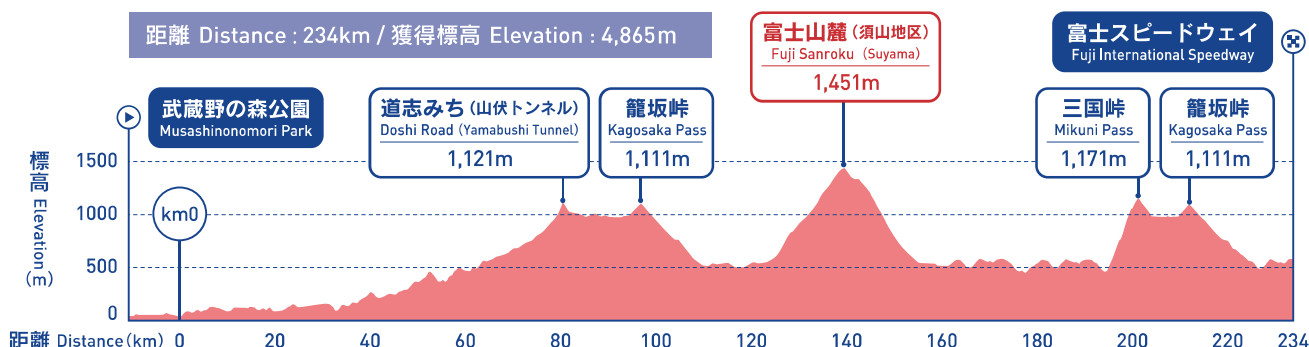
獲得標高4,865m 五輪史上屈指の山岳コース

東京2020大会で市内を走行する男子ロードレースは、総距離244km、10kmのパレード走行の後、選手が一斉にスタートして着順を競います。11時に武蔵野の森公園をスタートし、神奈川県、山梨県を通過して県内へ。小山町、御殿場市を通り、国道469号から市内に入ります。大野路交差点、須山交差点、富士山資料館前、南富士エバーグリーンラインを通過して水ヶ塚公園の近くまで上り、富士山スカイラインを下って御殿場市にもどり、小山町から再度山梨県を通過してゴールの富士スピードウェイを目指すコースです。

スタートからゴールまでに登る高さを合計した獲得標高は4,865m、五輪史上屈指の山岳コースです。市内の通過予定時刻は、14時30分ごろです。

オリンピックでは多数の山を登ります！

スタートからゴールまでに登る
高さの合計(獲得標高) **4,865m**



東京2020オリンピック自転車競技ロードレース（男子）コースマップ



- コース、コース周辺の一部道路は、交通規制（自転車を含む車両、歩行者の通行禁止）が行われます。
- 市内の交通規制時間は、12時35分～16時25分の予定です。当日の交通状況、競技状況により変更される場合があります。
- の交差点では、レースの先頭車両が通過する10分前まで歩行者または車両の横断ができます。
- 東京2020ライブサイトin裾野市(須山地区研修センター)、市観戦スポット（大野路交差点南 多目的広場）で観戦する場合、事前の申し込みが必要です。
- 沿道で観戦する場合には、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保など感染対策を行ってください。

【観戦禁止エリア】

以下の場所では観戦できません。

- 車道上
- 車道と歩道の区分のないところ
- 歩道の幅が狭く、歩行者の往来が確保しにくいエリア
- 急な下り坂のカーブなど観戦者の安全が確保できないエリア
- 競技運営上支障のあるエリア



富士裾野ビクトリーロード

国道469号から富士山資料館方面へと続く市道4155号線。公募の結果、富士山に向かって、勝利に向かって走る選手の姿が見たい！との思いから、『富士裾野ビクトリーロード』の愛称がつけられました。

オリンピックの沖美穂さん 教えてください!!

レース当日、東京2020ライブサイトin裾野市（須山地区研修センター）で中継の競技ガイドを務める沖さんに、レースの見どころなどを質問しました。



男子ロードレースのコースの特徴は

今回のコースは、山岳コースで標高差が大きく、五輪史上最もきついコースだと思います。これほどまでに獲得標高があるコースは少なく、有名なツール・ド・フランスのきつい一日のコースに匹敵すると思います。私も市内のコースを走ってみましたが、とてもきつかったです。見る人にとっては面白いコースだと思います。

予想されるレース展開は

レース展開がゆっくりであれば、須山に来るときは、集団になっていると思います。道志みちでスピードが上がって集団がバラバラになることも考えられますが、須山にくるまでは下りと平坦になるので、一度ペースを整え、集団に戻る可能性があります。須山の区間はきついので、集団が動く可能性もあり勝負の分かれ目となる面白い区間になるかもしれません。

ロードレースの勝負は、最後の1時間。200kmを過ぎてから、三国峠まで上っていくところが、ポイントになることも考えられます。あとは天候です。山岳コースなので、雨の降り方が激しければレース展開に大きな影響があります。雨がたくさん降ると体が冷え動かなくなってしまうので難しいレースになります。

ロードレース選手の脚質タイプ

クライマー	長い上り坂を得意とする小柄でやせ型の選手です。
スプリンター	ゴール手前で爆発的な加速をして勝利を狙うタイプの選手です。
ルーラー	独走力があり高速を維持することが得意な脚質で、エースを勝たせるためのアシスト向きです。
パンチャー	パンチのあるアタックをする選手で、アップダウンのある厳しいコースなどで活躍します。
オールラウンダー	チームのエースタイプで、山岳にも平坦地にも強い選手です。

観戦の楽しみ方は

平地では、一瞬で通り過ぎてしまいますが、実際に観戦できれば、集団でくる風、風圧を感じられます。ホイールの音もすごいです。臨場感は伝わるとと思います。選手は、体が冷えないように足にマッサージオイルを塗っているので、オイルの匂いもします。

アタックして集団が小さくなったときには、自転車のフレームに注目してください。同じ色だったら、国は違っても同じチームメイトなので、協力しあうこともあります。最後のところでは勝負しますが…

優勝候補は

ロードレースは、個人競技ですがチーム戦。自分が勝とうというよりも、チームで決めた人に勝たせようとしています。チームのメンバーも同じ脚質の選手を選びません。今回のコースは山岳コースなので、平地が得意なスプリンターは少ないでしょう。長い上り坂を得意とするクライマーがエースになりやすいコースです。山岳にも平坦地にも強いオールラウンダー、勝負所での強烈なアタックが得意なパンチャーにもチャンスはあると思います。

優勝争いは、イタリア、フランス、スペインなどヨーロッパの国々と山岳コースに強いコロンビアが中心になると思います。日本人では、3大会連続出場となる新城選手に期待です。最後の富士スピードウェイまで先頭が30人位の集団だったら、新城選手にもメダルや入賞の可能性はあると思います。スピードがゆっくりであれば、新城選手は先頭集団にいる可能性が高い。体力を温存して、最後に富士スピードウェイでの勝負になれば上位入賞が期待できると思います。

新型コロナウイルス感染症の感染状況などにより
内容が変更されることもあります。ご了承ください。